

発 行

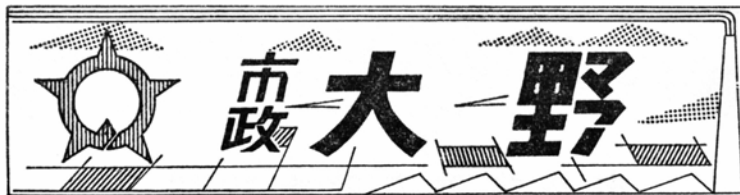
福井県大野市天神町1番1号

大 野 市 役 所

電話(代) 6-1111

郵便番号 912

印刷 松浦印刷所



2月の人口の動き

出生	男 26	女 33	計 59
死亡	13	22	35
転入	42	30	72
転出	37	32	69
世帯数	10,204 (前月+6)		
人口	42,716 (前月+27)		
	男 20,581	女 22,135	

## 676人のよい子が1年生



◀ 種痘をうける新入学児童。有終南小学校で

▼ 集団登校で横断歩道を渡る小学生



### = 登下校の道をはっきり決めよう =

今春小学校に入学するよい子は市内で男336人、女340人計676人です。

3月に種痘も終えて、4月1日はうれしい入学式です。でもチヨッピリ不安な気持を抱えていることでしょう。これはお父さんお母さんも同じでしょうが、よい子たちが一日も早く学校に慣れ、健康ですくすく成長していくよう、みんなで見守りたいものです。

学校の先生は親と子の注意事項として次のことをあげています。

- 1)、行き帰りの道を、親と子ではっきり決めておき、どこが危ない所かをよく注意しましょう。
- 2)、学校であったことや友達のことなど一日の出来事は必ず話し合いましょう。
- 3)、自分の物には名前を書く習慣をつけ

ましょう。

- 4)、規則正しい生活のリズムをつくりましょう。



安全な登下校は上の4つの注意事項の中で一番重要なことです。

この時期をとらえて、子供と老人の事故を防ぐため、毎年春の交通安全市民運

### 春の交通安全市民運動

4月6日～15日

動が4月6日から15日までの10日間繰り上げられます。

昨年の4月の事故は28件もあり、年間のどの月よりも多く、しかも被害者の大半が子供と老人です。

希望あふれる4月に悲惨な事故が発生しないよう、運転者は学校から半径500mのスクールゾーンでは、特にスピードをおさえて子供を守って下さい。

また市民みんなで“愛の一声”をかけて、自転車遊びや飛び出しの事故をなくし、正しい交通マナーを子供の身につけさせましょう。

3月定例市議会

## 緑ゆたかな都市づくりを

## 市長施政方針を説明

昭和49年度の市政の方向と仕事を決める第144回定例市議会は、3月11日から23日までの13日間にわたって開かれ、一般会計・特別会計予算案、中小企業振興条例案など32議案を審議し、いずれも原案どおり可決されました。寺島市長は開会初

日の施政方針演説で「農業に調和した文化の香り高い都市づくりを進めたい」と施政の基本的な考え方を明らかにしました。施政方針のあらましや議決内容の主なものを紹介しましょう。

## 市勢躍進の基礎できる

大野市は今年市制20周年を迎えます。この20年間には、伊勢湾台風や北美濃地震、豪雪など幾多の大災害に遭遇しましたが、市民の懸命な努力とご協力によって、今日堅実な歩みを続けています。

教育・福祉面では、小学校・統合中学校の建設をはじめ、公民館・保育所・児童館の建設、老人・ゼロ歳児・障害者対策の推進、産業面では、工場誘致、土地基盤整備事業、第1次林業構造改善事業などの推進、交通・生活環境面では、道路の整備、土地区画整理事業の推進、待望の越美北線の開通などを積極的に推し進め、市勢躍進の基礎固めが着実にできました。

この基盤に立って今年からは市民の英知を集め、魅力ある近代的都市づくりを進めていく方針です。

## 自然の良さを生かそう

今までの地域開発は工業優先でしたが近年は市民生活優先が叫ばれ、人間らしいゆとりのある福祉社会への転換が求められます。

大野市は今日まで地理的・気候的条件が悪い、市発展の大きな障害になっていました。しかし、悪条件と考えられていたことが、これから望まれる安全で住みよいまちづくりの条件となってきました。

大野市は美しい自然を持っています。この個性を生かした新しいまちづくりを進めるため

第1に農業に調和した都市開発を進めます。



施政方針を述べる寺島市長

第2に文化機能を充実します。

第3に新しい産業を誘致して、市産業構造の革新を図ります。

## 教育と福祉を重点に

都市の魅力は文化的な香りであり、そこに人間としての生活が充足されます。

恵まれた自然を持つ当市にとっては、この自然を生かした教育文化施設、体育レクリエーション施設、福祉施設、総合運動公園などを整備していかなければなりません。

## 教 育

## 通学区域再編成が課題

学校教育の課題は、長期的視野に立つての通学区域の再編成で、基本は有終南小学校と東小学校（仮称）の建設にあります。早く有終南小学校の敷地を決定して具体的な計画を立てていきます。また富田・阪谷・乾側小学校も計画的に整備していきます。社会教育では、創造性豊かな市民づくりのために各種講座・学級

グループの育成に努め、スポーツ施設では体育館の建設を積極的に進めます。

## 福 祉

## 福祉センター建設を計画

老人対策、児童対策、身体障害者対策などに取り組みます。特に社会福祉センター建設については、学校はじめ体育館・運動公園・老人センターなど、多くの施設とともに市民のみなさんとよく相談をして、今年中に具体的な総合計画を立てます。



そばを楽しむ小山老人クラブの人々

## 商 工 業

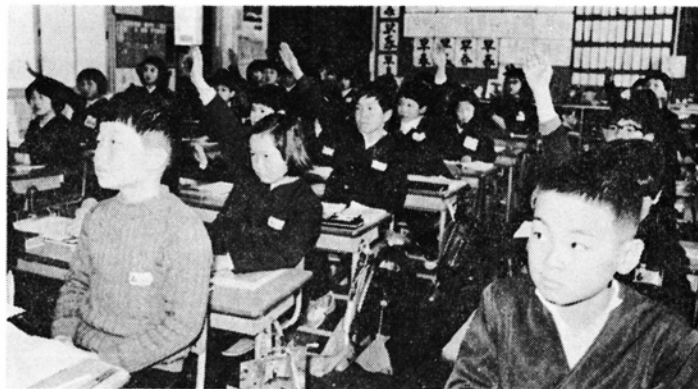
## 企業の集団化、共同化を

男子青年が喜んで働けるような産業の育成、工場の誘致が必要です。このため塚原地域40㌔余りを工場適地として確保するよう努力します。

また商工業の体質を強化するため、商工団体と協力して金融・労務対策を重点にし、指導事業、研修事業の充実、中小企業振興条例を制定して企業の集団化、共同化、設備の近代化を進めていきます。

## 市民の努力で堅実な歩み

市制20周年

スチール製の机で  
元気に勉強する児童

## 農 業

## 土地基盤整備で体質改善

農業の体質改善と団地化が大切なことから、土地基盤整備事業を積極的に進めるとともに、農業の機械化、協業化、請負耕作制度を推進します。

また確固とした土地利用計画のもとに農地を確保し、特産物の振興に努力します。

## 林 業

## 公共資金による造林を

生活環境の緑化の要請とあいまって、森林の公益的役割はますます大きくなっています。このため、森林組合を強化して山林労働者を優遇するとともに、公共

資金による造林対策を推進します。また第2次林業構造改善事業を計画して、林道の開発、特産物の振興に努めます。

## 自然資源

## 保全を考え施設をつくる

大野市が持っている自然は市民の大きな財産であり、自然環境の保全は重要です。これからは保全と開発を考えながら、自然を求める人々のために健全な娯楽施設、国民宿舎、遊歩道、休憩施設を建設していきます。

## 都市環境

## 下水路、河川の整備に重点

豊かな緑、田園に包まれた環境の中に

近代的な市街地づくりをするため、土地区画整理事業、下水路、公園整備などの都市計画事業を進めます。

特に当面の課題は下水路と河川の整備であり、中野下水路、緑橋下水路の早期完成を目指します。

## 道 路

## 農村部の舗装を充実

道路の整備は交通・除雪・公害対策などの面から急務です。そのため南回りの国道158号線バイパスの建設を促進するとともに、広域農道を利用した北回りバイパスに着手するよう努力します。

また土地基盤整備事業と並行して市道の拡幅整理、農村部の舗装工事を進めます。

## 交通網

## 越美線の全線開通促進を

奥越の魅力ある中核都市となるためには、道路・交通網の整備が大切で、越美線の全線開通、県道大野墨俣線の整備と国道昇格、国道158号線福井・大野間の四車線化を進めます。

また福井臨海工業地帯と結ぶ産業道路建設などが早く実現するよう、積極的に取り組みます。

## ( 条 例 )

## 公害防ぎ健康な生活を

## 環境保全条例1日から施行

「大野市環境保全条例」が新しく定められ、4月1日から施行されます。

この条例は、市民みんなで公害を防止し、健康で文化的な生活を築き、自然・文化財などを守ってこうというものです

内容はまず事業者、市、市民の責任を明らかにし、事業者は規制基準以上のばい煙・大気汚染・汚水の排出などを防ぎ新しい工場を建てるときは、工事開始30日

前に市へ届け出なければなりません。

市は環境保全計画を立てて、都市施設を整えることや、自然環境を守るための指定、公害発生源の調査、また事業者の用地造成、工場建設に必要な指導、資金のあっせん、さらに改善勧告や変更命令・作業停止命令などを行います。

市民は自分の土地・建物に責任をもち周辺の環境を美しくするとともに、日照

障害・電波障害・夜間騒音・悪臭・汚水などを出さないよう努めなければならないと定めています。

またこの保全対策を進めるため「大野市環境保全対策審議会」を設置し、基本的な調査・審議をすることや、違反者は1年以下の懲役または10万円以下の罰金に処せられることが明記されています。

スマイル

「新 学 期」

こちらは辛額期

— オ ヤ ジ —

コ ー ナ ー

## ◆住みよい生活環境の整備

## 道路改良に1億4,000万円

〈土木事業〉 道路の改良舗装に1億4,548万円を、道路橋りょうの維持修繕には、工事原材料費を合わせて2,142万円をかけます。

河川の改良しゅんせつには1,910万円をかけ、市街地の通水を良くします。

〈都市計画事業〉 街路事業では継続の三番線に1,200万円、向島線舗装に2,400万円を計上、それぞれの事業を完成させます。

駅東線、中挟・中野・大橋線の改良工事などを進める北部区画整理事業会計に3,000万円を繰り出し、また中野・犬山線には200万円を計上しました。

公園の整備では、亀山公園に800万円元競馬場用地を運動公園にするための調査費に300万円をかけます。

下水路では中野下水路に2,100万円、本町下水路に280万円をかけ整備します。

〈環境衛生対策〉 ごみ焼却場建設は敷地の確保が遅れ、1か年延長して49・50年で整備します。今年は広域行政事務組合への焼却場建設工事負担金として、4,278万円を計上しました。また、ごみ収集車1台を190万円で購入します。

## ◆市民福祉の充実

## 児童手当は1,300人分を

老人対策として、老人家庭奉仕員設置費1,248万円、老人クラブ・敬老会補助金に353万円、老人医療費助成6,670万円をあげました。

児童対策では、児童手当1,324人分の3,797万円、ゼロ歳児医療扶助227万円、私

立保育所補助165万円が主なものです。

そのほか重度心身障害者医療扶助234万円、心身障害者更生医療扶助802万円、重度心身障害児福祉手当258万円をあげました。

保健対策は、胃・子宮ガン検診などに、



1人暮らしの老人の世をする  
家庭奉仕員

1,127万円、休日診療の補助に180万円、また国民健康保険料会計へ2,052万円を繰り出し、保険税の増額を緩和しました。

## ◆安全対策

## 歩道や標識を整備

交通安全対策では674万円をあげ、歩道、反射鏡、標識などを整備します。

# 新年度の予算は

## 住みよい生活環境

昭和49年度当初予算が決まりました。予算総額は32億5,133万8,000円で、前年に比べ19.5%増の緊縮予算です。一般会計は24億2,088万7,000円で前年より9.5%の伸び、国民健康保険事業会計など5つの特別会計は、前年より40.0%多い8億3,045万1,000円です。今年は国の総需要抑制政策に沿った財政運営を行うため

消防費では大野地区消防組合負担金に1億82万円を計上し、消防車2台900万円、小型ポンプ積載車1台120万円、防火水そう2基140万円、小屋改築155万円などが計上されています。

## ◆産業の振興

## 中小企業へ2億円融資

〈農業〉 井ノ口・富島間農免道路舗装に217万円をかけ完成、ほ場整備事業補助に3,263万円、市・県単土地改良事業費に819万円を計上しました。

農業の振興では、稲作転換促進対策として、いちご集荷施設整備事業に360万円、里芋増収試験費28万円、家畜導入補助90万円、このほか大野市農協再建整備補助159万円、県営牧場負担金288万円を計上、また工業導入調査費400万円をあげ、候補地塚原地区の調査をします。↗

## ( 条 例 ) 企業の協業化を進める

### 中小企業振興条例を制定

「大野市中小企業振興条例」が制定され、4月1日から施行されます。これに伴って工場誘致条例が廃止になりました。新しい条例は、市内の中小企業者または組合が共同化・協業化を進めて、産業の体質改善を図ることをねらっています。

主要内容として、市は固定資産総額1,000万円以上の工場を新設や移設する企

業・組合に補助金を出すことや、共同化・協業化に必要な融資のあっせん、環境整備のための施設の便宜の供与などがあげられています。

今までの「工場誘致条例」は固定資産総額1億円以上、従業員30人以上などの大企業を誘致するのが目的でしたが、公害防止が叫ばれている現在、「無差別で

工場誘致をすべきでない」とか、「地元の中小企業育成に重点を」などの考え方から廃止になりました。

### 国保の助産費は倍額支給に

国民健康保険の一部が改正され、給付金が次のとおり改定されました。実施は4月1日からです。

助産費 1万円を2万円に  
育児手当 200円を300円に(月額)



# 32億5,133万円

## 福祉・教育に重点

消費的経費を圧縮し、新規公共事業は国・県補助の決定をまって補正予算で措置します。重点施策は①住みよい環境の整備②市民福祉の充実③教育の振興④産業の振興⑤安全対策の5点ですが、ここでどんな事業にどれだけ使われるか、主な予算の中味を紹介しましょう。

＜商工観光＞ 商工費では、中小企業融資預託金に1億112万円、利子補給428万円を計上、金融機関の協力を得て2億1,000万円を融資します。

観光では、魚止取付道路改良200万円、城まつり150万円、そのほか商工会議所補助208万円、大野建設業会館建設補助200万円、労務対策として退職金共済補助62万円をあげました。

### ◆教育の振興

#### 児童机は

#### 全部スチール製に

学校教育については、開成中学校の継続分1億341万円、富田小学校プール1,230万円、東小学校建設基金2,500万円計上、また小学校児童机に660万円をかけて、本年ですべてスチール製に更新します。このほか有終西小学校の視聴覚設備費に30

0万円、尚徳中学校校庭を230万円で整備します。

社会教育関係では、各種の学級・講座費に437万円、新しいまちづくり運動推進費に92万円、移動芸術祭に100万円、訪ソ青年の船補助10人分96万円を計上し



工事が進む上庄の土地基盤整備事業

／＜林業＞ 林道改良費490万円、造林費1,541万円、市制20周年を記念して、115万円で植樹祭を行い造林意欲を盛りあげます。また森林組合労務班強化対策に290万円、治山工事費に155万円を計上しました。

### —大野保育園—

#### 20年の歴史閉じる

「市立保育所設置条例」の一部が改正されて、大野保育園が廃止となり、北部保育園が設置されました。

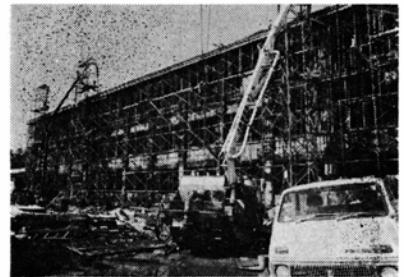
大野保育園は建物が古くなった上に国の設置基準より小さく、また保育園間の距離が近いなどの理由から、北部保育園完成を機会に廃止することになりました。

大野保育園は昭和29年に市内で初めての保育園として私立で誕生し、昭和30年

7月に公立になりました。昭和48年度まで定員73人の保育園として続いてきましたが、この度20年の歴史を閉じます。

#### 生活環境課がスタート

「市役所課室設置条例」の一部が改正され、4月1日から「生活環境課」がスタートします。この課は環境保全条例の目的である「市民の健康で文化的な生活を確保する。行政組織です。主な業務は、今まで庶務課で行ってききました公害・交



80%できた開成中第1期工事

ました。

体育関係では市体育協会に120万円補助します。

#### 打波地区民の移住に助成

打波地区移住対策として1,234万円、市制20周年記念要覧150万円、また金山・森目・友兼などの過疎バス運行補助240万円が主なものです。また一般職員、常勤および非常勤の特別職を合わせた人件費の総額は7億3,352万円です。

#### 一般会計歳入予算

#### 市税は7億3,907万円

歳入予算は総需要抑制の方針から堅実に算定してあります。

予算額順にみますと、地方交付税8億3,200万円で全体の34.5%、次は市税7億3,907万円で全体の30.5%、前年より20.6%の伸びです。

市税の内訳は市民税2億4,659万円、固定資産税3億2,720万円、たばこ消費税6,632万円、電気ガス税5,069万円などです。次いで国庫支出金3億8,857万円、諸収入1億3,601万円、県支出金8,349万円、市債6,220万円となっています。

通・消費者保護などの分野です。

#### 議員・特別職の報酬を改正

特別職報酬等審議会の答申に沿って、議員・特別職の月額報酬が次のように改正され、4月1日から実施されます。

▷議長10万5,000円 ▷副議長9万5,000円 ▷議員9万円 ▷市長29万円 ▷助役24万円 ▷収入役21万円 ▷教育長18万円。このほか監査委員、選挙管理委員会委員などの非常勤特別職の報酬が平均25%引き上げられました。

特別  
会計

## 保 險 税 は 33 倍 高 に

## 運 営 苦 し い 国 保 会 計

国民健康保険事業特別会計予算は、歳入歳出それぞれ6億2,267万円で、昨年の33倍増となっています。

歳入は、保険税2億4,740万円と国の補助3億4,076万円、それに一般会計予算からの繰り入れ2,051万円などでまかなわれます。

歳出は、病院や診療所に支払う医療費が5億7,460万円で全体の92%を占め、また給付費は助産給付が472万円で、1人当たり2万円(前年は1万円)の236人分、育児給付は1人当たり1,800円(前年は1,200円)を236人分



予防第一と集団検診を受ける市民

## 人 事 異 動

4月1日付け。係長級以上( )内旧任

【市長部局】▷秘書広報課長松田樵(庶務課長兼務)▷生活環境課長多田登(秘書広報課長)▷農務課長補佐田中恵(同課土地改良係長)▷市民課長補佐兼年金電算係長前川昭吾(体育課係長)▷企画財政課長補佐兼企画係長松田次男(林務課長補佐)▷秘書広報課長補佐植村英二(市民課長補佐)▷生活環境課長補佐斎藤忠男(税務課固定資産税係長)▷北部保育園長森川昭一(庶務課公害交通係長)▷林務課長補佐石塚信正(土木課工務第二係長)▷農務課土地改良係長経岩二郎平(農務課主査)▷土木課工務第二係長高岡俊二郎(商工観光課主査)▷税務課固定資産税係長松田勲(税務課)▷厚生課児童係長柴田正(同課)▷農務課主査川端謙吾(同課)▷農務課主査勝矢義視(同課)▷林務課主査松本勇夫(同課)【教育委員会】▷庶務課長補佐堂本為夫(同課係長)▷社会教育課長補佐幅口芳枝(同課係長)▷体育課係長土谷春栄(厚生課児童係長)【大野地区消防本部】▷消防長事務取扱寺島利鏡▷本部長兼署長伊藤一郎(同署次長)▷次席大久保光男(同署警防課長)▷警防課長旭光也(同署)【退職】永田正元(消防長)

計上しました。

この会計は、各市とも医療費の値上がりや老人医療の無料化による受診者増などで、運営が年々苦しくなっています。

このため、大野市でも保険税の引き上げはやむを得ず、昨年の33倍高になりました。県下6市の状況をみても平均35倍ほど引き上げられています。

市では加入されている方々の負担をできるだけ少なくするため、一般会計からの

繰り入れを昨年の2倍以上にし、また基金から1,148万円を繰り入れました。この税は所得・資産・均等・平等割の4つで算出されますが、今年の加入者1人当たりの平均税額は1万2,103円になります。

## 街路建設を重点に

## 北部土地区画整理事業

北部土地区画整理事業予算は、歳入歳出それぞれ1億9,857万円で、事業区域内の駅東線、中挾・中野・大橋線などの道路工事費、物件移転費に1億7,264万円をかけます。簡易水道事業は536万円で、西富田など4つの水道管理費です。食肉処理場事業は141万円で、維持管理費です。南部土地区画整理事業は242万円で、主に残工事費です。

## 48年度一般会計

## 総額 29億797万に

昭和48年度一般会計予算は2億797万円を追加して、歳入歳出それぞれ29億2,984万8,000円になりました。

内容は工事費などの物価スライドによる増が含まれており、主なものは元競馬場用地購入費6,968万円、北部保育所用地代626万円、上庄機械利用組合補助1,233万円、県道の改良・舗装に伴う県工事負担金2,272万円などです。



11

円 立 寺

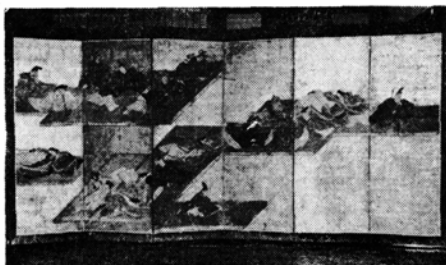
## 三十六歌仙図屏風

錦町の円立寺には、第10代大野藩主

松平直良から寄進された三十六歌仙図屏風が保存されています。もとは1双でしたが、いつのころからか半

双は他へ転出して、今は半双しか残っていません。

6曲の金屏風に描かれた歌仙図は、岩佐又兵衛勝以の作と伝称され、採色、



筆致、構想ともにすばらしい優秀作です。

本堂に残っている古い欄間も、直良の寄進したものといわれ、この道の大家も舌をまく程の絶妙の作です。この欄間のうち北室の2

面と三十六歌仙図屏風は、市指定の文化財です。

日蓮宗真応山円立寺は、歴代城主の尊崇が厚く、土

井藩主時代には、大野町寺院の中、新年のお祝いを申し上げに登城することを許された4か寺の一つでした。

## 公立初の乳児保育始まる

北部保育園10日に開園

北部保育園は4月10日に開園します。この保育園は総事業費6,270万円をかけ鉄筋コンクリート2階建て943平方メートルのもので、保育室5、遊戯室2、乳児室、医務室・浴室などを備えています。

定員は3歳未満児50人と3歳以上の児童100人の計150人で、市内では一番大き

く、また乳児を預かる最初の保育園です。

昭和48年度は開成・亀山・北部の3保育園の建設が相次いで行われ、児童福祉の面では特に明るい年でした。このため一挙に定員が257人増え、今年は希望者970人が、100名入園できることになりました。



先生や区民に送られて学校を出る木島智恵美さん

## 山・川の美しさに負けない

下打波小1人ぼっちの卒業生

3月21日、下打波小学校で1人ぼっちの卒業式がありました。

卒業生は木島智恵美さん(12歳)で、在校生が1人もいないため、勝原小学校の佐藤典子さんら6人が友情参加、それに最後の卒業式になる可能性も強いため地区の父兄約30人が出席しました。

智恵美さんは「この学校は4月から休校になり寂しいですが、下打波の山や川

され、同36年には独立校になり39年には生徒数が83人と同校77年の歴史の中で最高を記録しました。

区長の桜井孟さんは「下打波の区は寂れてしまったが、共有林が400㌔あり、また個人の山林もある。これからはもっとみんなで山を生かすよう力を合せなければならぬ」と決意を語っておられました。

の美しさに負けないようがんばります」とお別れの言葉を述べると、父兄の中には母校の変遷に思いを走らせてか涙する人もありました。

下打波小学校は明治30年に勝原校の分校として設置



モダンな姿に完成した北部保育所

## 冬の除雪費

1,000万円越す

市はこの冬の除雪状況をまとめました。除雪した総延長は2,500㌔、除雪延日数は63日、要した経費は燃料や賃借料など1,002万円です。昨年は135万円でした。

また除雪車の出動台数は、市保有車194台、借上車189台、計383台となっています。

この冬は昭和43年以来の大雪となり、昨年11月から今年の2月までの新雪累計は7㌔66㌔で、その上例年になく早く降り始めたため、11月19日に除雪を開始しています。市では新雪15㌔に達しますと交通の確保に努め、冬期間延27日は早朝4時から作業をしました。

除雪での問題は、路上駐車と屋根雪の不始末がかなり目立ったことで、市民のより一層の協力が望まれます。

市は昨年1年間の観光客調査をまとめました。これによりますと、訪れた観光客は44万9,000人で、昭和47年より9,000人多くなっています。

観光地別では六呂師高原の15万8,000

人、勝原の12万人、九頭竜峡の10万人の順ですが、観光の主力であるスキー場は3年連続の雪不足で、4万5,000人

と平年の半数どまりでした。

一方、日帰り客は42万人で全体の94㌔を占め、奥越の自然を求めるハイ

## ——昨年の観光客は45万人——

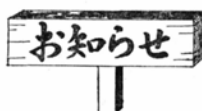
——自然に親しむ人が増える——

キングや行楽客がこれまでの最高になりました。

県外からの客は13万9,514人で全体

の3分の1強となっており、そのうち関西人が約6万人で一番多く、次いで北陸人の4万3,000人となっています。

「緑と水。を求めて大野を訪れる人々が年々多くなりますので、市では今年九頭竜峡の魚止に休憩所を設けたり、六呂師円山公園に遊歩道の建設や公園地の整備などを進めています。



## ◆……清掃員を募集します

市は清掃員を次のとおり募集します。

<職 種> 清掃員

<資 格> 昭和19年4月2日から昭和31年4月1日までに生まれた健康な男子

<採 用 人 員> 2人

<申し込み期日> 4月20日まで

<申 込 み 先> 大野市役所保険衛生課

## ◆……農作業協定賃金が決まる

市農業委員会は今年の農作業協定賃金を次のとおり決めました。ご協力下さい

田植は男2,900円女3,100円、稲刈りは男2,800円女3,000円(1日実働8時間、まかない別) 機械作業では水田耕起の耕運機3,100円、トラクター2,000円、水田代がきの耕運機4,000円、トラクター3,000円、田植機は3,300円、稲刈りのバインダー4,350円、コンバイン9,200円、(いずれも10畝当たりでトラクター、コンバインは補助員なし)

## ◆……固定資産税第1期の納期は5月

地方税法の一部が改正になりますので毎年4月納期の固定資産税第1期が、事務作業のため1か月延びて5月になります。

また昭和49年度固定資産課税台帳の縦覧も1か月延びて、4月1日から4月20日まで市役所税務課で行いますので、確かめて下さい。

## ◆……農地変更には転用確認証明を

4月1日から農地・採草放牧地の地目変更登記をする時は、市農業委員会の転用確認証明が必要になります。

今までは知事の転用許可だけで登記できましたが、転用確認制度がなかったため、転用目的外に使用されたり、すぐに転売されたりして大切な農地が失われてきました。これを防ぐために「農地等の地目変更登記にかかる転用確認証明制度」が設けられたのです。地目変更される方は必ず市農業委員会へ確認証明の申請をして下さい。

## ◆……精薄者に療育手帳交付

県は今年3月から「精神薄弱者療育手帳制度」を設け、該当者に手帳を交付しています。この制度は一貫した指導相談が行われるように配慮することと、特別児童扶養手当・心身障害者扶養共済など各種の援助措置を受けやすくするためのものです。

現在、市厚生課で申請を受け付けていますので、該当される保護者の方は印鑑を持参して手続きをして下さい。

## ◆……「県政パス」にご参加を

県政への理解と意見を施策に反映させる「県政パス」が次のとおり行われます。ご参加下さい。

<日 時> 4月25日(木)

<集 合> 国鉄越前大野駅 8時20分

<人 数> 婦人50人

<コ ー ス> 越前大野駅→朝倉遺跡→林業試験場→陶芸館→公害センター→越前大野駅前(午後5時10分着)

<申し込み方法> 4月15日までに県広報課県民相談室(福井市大手3丁目17-1)へ、住所・氏名・年齢・連絡方法を往復はがきに書いて申し込んで下さい。

## ◆……2日、22日に社会保険相談

福井社会保険事務所は、4月から新しく毎月2回「社会保険相談所」を開きます。今月は2日(火)と22日(月)いずれも午後1時から4時まで、大野織物工業協同組合(本町)で行いますので、「健康保険」「厚生年金保険」「国民年金」また各種手当金請求などで、疑問やお困りの点を気軽にご相談下さい。

## ◆……人権・行政相談を新設します

4月から新しく人権・行政合同相談を毎月第2火曜日午後1時から4時まで市役所談話室で行います。問題や疑問などのある方はご利用下さい。4月は9日です。なお当日は交通事故相談も併せて行います。

## ◆……犬は必ず登録を

犬の登録と狂犬病予防注射を4月1日から24日まで、各地区ごとに行っています。登録されている飼主へは個々に実施の通知をします。未登録の方は市役所保険衛生課へ実施日、場所などを尋ね、この機会に必ず登録して下さい。手数料、予防注射料などに700円必要です。

## ◆……農集電話の番号が変わります

下庄・乾側・小山・富田地区の農村集団電話が、3月25日から一般電話になりました。新しい電話番号は、切り替え電話番号一覧表または案内で確かめてからおかけ下さい。



小野田さんが三十年ぶりに帰還され、横井さんに次ぐ戦争の悲劇をいまさらながら味わった。去る正月早々、不動堂の島田トシさんの約二十九年ぶりの故国入りもそれに似た感懐がある。元中国開拓団員として現地に残って二男二女を養育し、母子五人が無事故郷の土を踏み、しかも現在四人のお子さんたちはそれぞれ新職場や学校に入り、一日も早く祖国の風習になじもうとする姿は周囲の人たちの善意とともにほえましい春の朗報である。▼二月十九日、寺島市長は上京し、この島田さん一家の帰国に大いに尽力された中華人民共和国大使館の肖向前氏、許宗茂氏を訪ね、深く謝意を表したことはすでに周知のとおりである。▲それにしても中国と当市は古い昔から深い因縁がある。すなわち宝慶寺の開山寂円禪師は中国宋朝の高僧で、明州慶元府の太白山天童景德禪寺で、日本から入宋した道元禪師(永平寺の開山)とともに如浄禪師のもとで参禅を続けた。寂円は道元の人格をこよなく慕い、法兄として尊敬し、貞安二年(一二二八)来朝し道元に随待された。弘長元年(一二六一)銀杏峰のふもとに入り石上に坐禅後、一字を草創して宝慶寺(宝慶は当年の宋の年号)と号した。時に弘安元年(一二七八)で、約七百年前からの法灯を今も連綿としてとし続けている。この話を市長から聞いた両氏は深く心を動かされたと。いつの日か中国代表団の来野を願うとともに日中友好のきずなとしたいものである。(M生)